

千葉県のDX

*digital
transformation*

令和7年度の取組状況

千葉県デジタル改革推進局



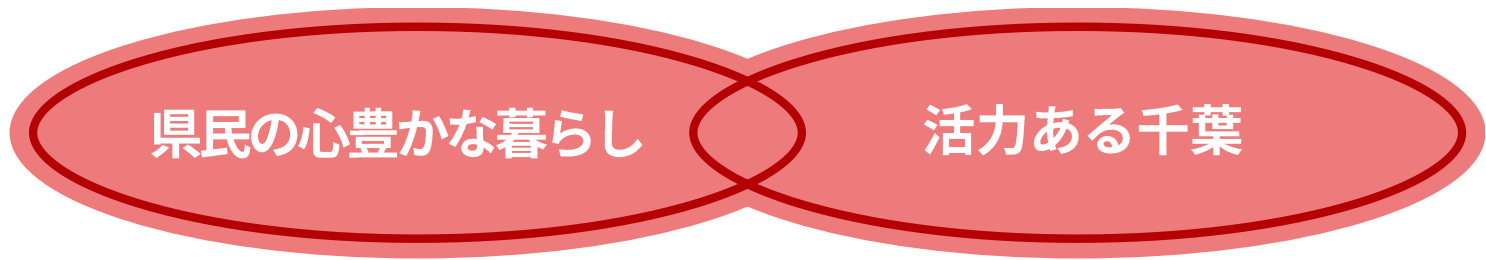
CHIBA DX

【千葉県DX推進戦略における目指す姿】

デジタルのチカラで創る 県民の心豊かな暮らしと 活力ある千葉

デジタルの持つ大きな可能性を生かすとともに、誰もがその恩恵を享受することで、

- ▶個人：一人ひとりの可能性が広がり、県民が個性と能力を発揮し、思いを実現
- ▶社会：変革を通じた新しいサービスや価値の創造により、地域や産業が活性化



【施策数】

目指す姿の実現に向け、4つの分野で計 **278** 施策に取り組みました。



※システム保守事業等は除く

【暮らしのDX】

VR訓練による消防団員の災害対応能力向上	4
県と市町村で被災者支援システムを共同導入	4
SNSや無料配信動画サービスを活用し啓発効果の向上	5
くらしの安全マップで犯罪や事故発生状況の情報提供	6
ウェアラブルカメラで水道施設の効率的な維持管理	6
AIチャットボットで福祉相談をサポート	7

【仕事・生きがいのDX】

メタバースを活用した子どもたちへの支援	8
「ちばらしい暮らし」の魅力を発信	9
誰もが利用できるような読書環境の整備	10
学力向上を目的とした学習環境の整備	10

【産業のDX】

スマート農業の推進による生産性の向上	11
海上でデータ通信サービスを活用し漁業者の生産性向上	12

【行政のDX】

開発登録簿の閲覧・写しの交付申請のオンライン化	13
県の行政手続の約7割がオンライン化	14
県庁の業務改革で県民サービスの更なる向上	15
オフィス改革の実施による効率的な業務運営	16
誰でも活用可能なオープンデータの利活用推進	17
県民サービス向上に向けた情報発信の強化	18

VR訓練による消防団員の災害対応能力向上や迅速かつ的確な被災者支援を実現するため、県と市町村で被災者支援システムを共同導入しました。

【火災対応VR訓練】

消防団技術向上動画を
Youtubeにて公開中



【VR訓練利用者実績】

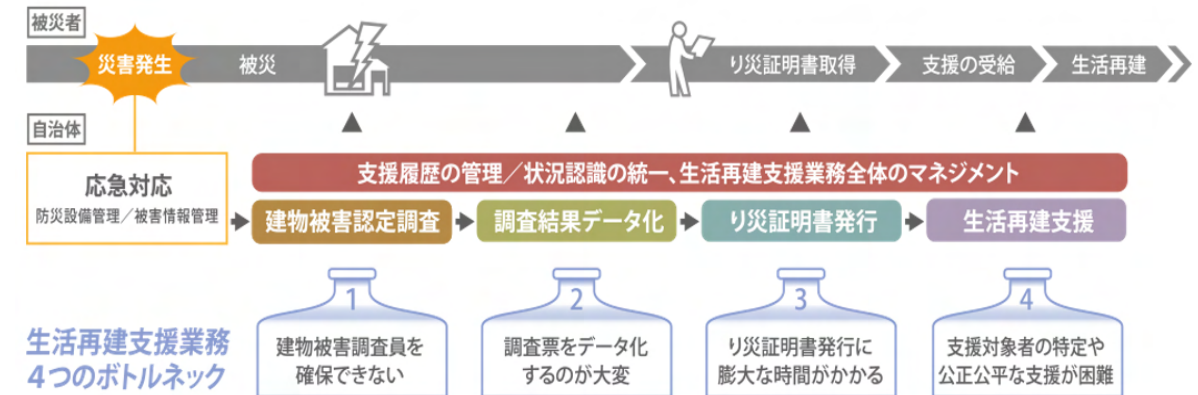
VR訓練利用者数 524人（19団体）

（令和7年11月～令和8年3月）

▶ 消防団員災害対応力強化事業
（VRコンテンツを使用した火災想定訓練を実施）

【被災者支援システム共同導入】

住家被害認定や罹災証明の発行などの一連の業務について、システムを活用し迅速化を図るとともに、市町村との共同導入を拡大し、応援業務の円滑化を進めています。



【共同導入自治体数】 22市町村（令和7年度）

▶ 被災者支援システムの県・市町村共同導入

SNSや無料配信動画サービスを活用し、伝えたい方に届くように、啓発効果の向上を図りました。

【SNS等を活用した効果的な啓発】

視聴傾向や利用者の属性に応じて、広告を表示し、ターゲットに応じた普及啓発を実施しました。
令和7年度は、SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止の啓発活動を始めました。



【令和7年度実績 各事業合計】

[表示回数] 約957万回

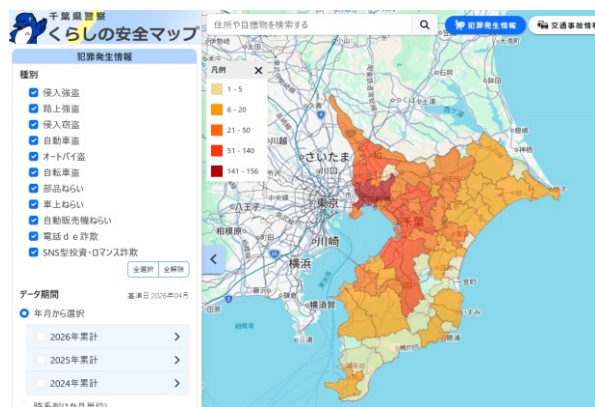
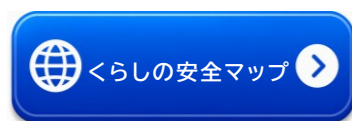
[クリック数] 約15万回

▶ 飲酒運転の根絶に向けた啓発事業、ゼブラ・ストップ活動啓発事業
電話 d e 詐欺等被害防止広報・啓発事業のうち、SNS広告を活用した広報啓発活動

犯罪や事故発生状況の情報提供と、水道施設の効率的な維持管理を進め 安心・安全な地域づくりを推進しました。

【千葉県警察 暮らしの安全マップ】

暮らしの安全マップを
リニューアルしました。

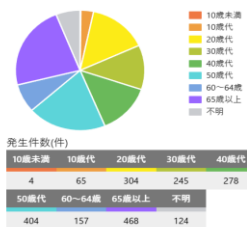


地域ごとにレポートとして出力
することもできます。

犯罪発生情報



交通事故発生情報



道路形状別発生状況



令和8年3月より
利用開始

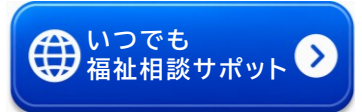
【ウェアラブルカメラの導入】

これまで、浄・給水場における点検や修繕等の
現場作業への活用を目的に導入し、情報伝達の
迅速化や業務効率化に効果が認められたため、
工業用水へも導入拡大しました。



ウェアラブルカメラ導入実績
R6年度 10台 ▶ R7年度 17台

いつでも何度でもAIチャットボットで福祉相談をサポートし、
適切な窓口への案内を行いました。



LINE&Web対応

いつでも福祉相談サポート

いつでもチャットボットがお困りごとに応じた福祉相談をサポートします!

秘密厳守 匿名利用可

24時間365日
チャットボットはいつでも「何度でも」利用OK

適切な窓口案内
福祉に関する、さまざまな相談に対応。最適な相談支援機関をご案内します。

複雑な相談OK
相談内容に応じた柔軟な対応が可能。AIがお悩みごとを丁寧にお聞きし、ときほくします。

こんなお困りごと、疑問などいつでもお気軽にご相談ください!

- ☒ 自分に合う福祉の制度、サービスを気軽に知りたい
- ☒ 生活に心配や不安、悩みがある
- ☒ 何から話してどこに相談すればいいかわからない
- ☒ 介護や障害、子育てについて相談したい

LINE版
LINEアプリの「友だち追加」から右記QRコードを読み取り

Web版
右記QRコードから専用ページへアクセス

千葉県

【令和7年度実績】

[適切な窓口への案内] 約**68%**

※利用者自身が案内先窓口を正しいとした割合

[利用者満足度] 高評価率 **85.8%**

[利用件数] **3,636件**

適切な相談窓口を案内できるよう
継続的にシステム改善を実施しています。

メタバースを活用し、不登校等により 孤立した子どもたちへの支援を行いました。

【メタバースによる居場所づくり】

子どもたちが安心・安全に参加できるように、
メタバース上に居場所を開設し、
相談、支援に繋がりました。



▶ メタバースを活用した不登校児童生徒支援事業

【令和7年度実績】

[満足度] **86.4%**

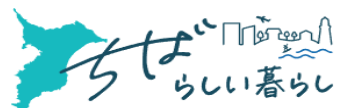
- [参加した子どもや保護者の声]
- ・人と話すことが楽しいと感じた。
 - ・友達ができて一緒に過ごせたらより楽しくなりそう。
 - ・子どもの顔が明るくなった。

[延べ参加者数] **668人**

※令和7年11月開設～令和8年3月

移住・二地域居住に対する潜在的ニーズをもった関心層へ
「ちばらしい暮らし」の魅力を発信するための情報をお届けしました。

【移住・二地域居住ポータルサイト】

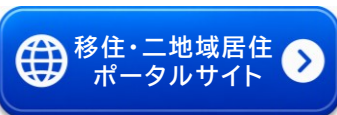


千葉県移住・二地域居住ポータルサイト

都会と田舎の二拠点生活。自然の中で子どもと共に育つ暮らし



国際線のパイロットから転身して大網白里へ。ビールを囲んで笑顔が生まれる場を目指して



海に惚れ込んだ勝浦へ完全移住。“うまい”海水から最高の塩を作る



多拠点ライフの原動力は子どもへの愛。匝瑳市にサーファーと親子が憩える場を



[PV数]令和7年度はWeb広告を配信したことで前年度を上回る実績に至りました。

[ポータルサイトPV数の推移]

令和7年度PV数前年比

+157,130PV (41.6%増)

534,668

377,538

令和6年3月
サイトオープン

令和6年度

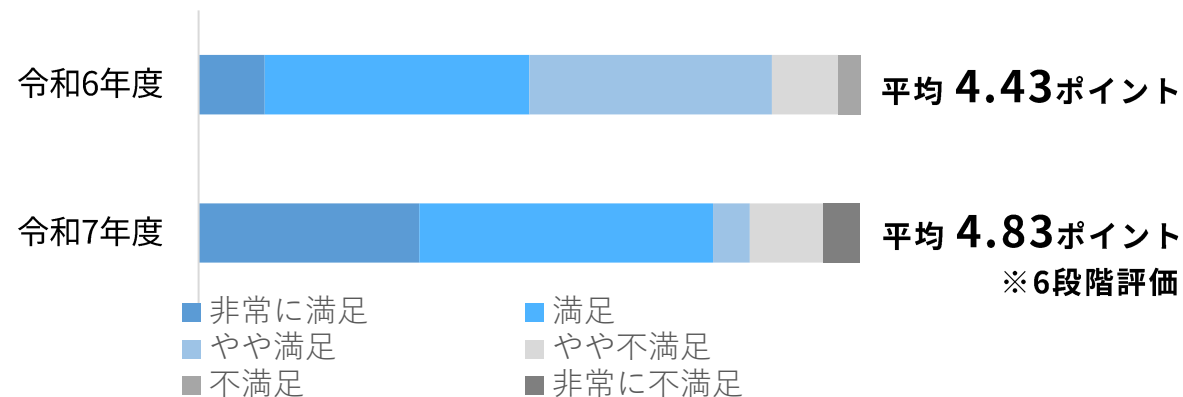
令和7年度

誰もが利用できるような読書環境や 学力向上を目的とした学習環境の整備を行いました。

【電子書籍サービス】

電子書籍の検索機能を拡充し、
利便性を向上させました。

[利用者満足度]



【電子黒板の導入】

電子黒板を活用し、授業の理解促進や
学習意欲の向上に繋がりました。

県立高校2校、特別支援学校2校

[導入実績]

計 **92** 台導入

[活用効果]

- ・ 板書等にかかる時間を縮減
- ・ 生徒の考えを電子黒板上に投影することで、比較・討論が容易に

- ・ 教師の負担軽減
- ・ 対話的な学びの時間の増加

生産性の向上と人手不足に対応するため、 スマート農業※¹を推進しました。

【スマート農業の推進】

農業の持続的な発展を目指し、より多くの農業者がスマート農業に取り組めるよう、普及・定着を推進しています。

作業省力化や自動化等に資するロボット・ICTを活用した機械の導入を支援し、農作業の省力化に繋がりました。



農薬散布用ドローン



直線アシスト田植機

[スマート農業に取り組んでいる認定農業者等※²の割合]



※1 スマート農業

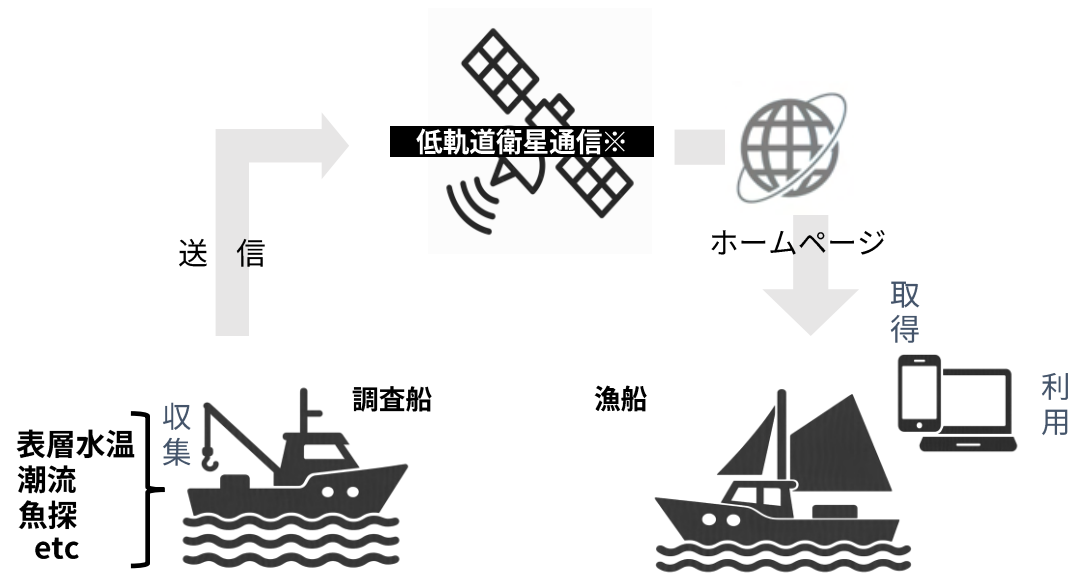
AI、IoT、ロボットなどの先端技術を活用し、農作業の省力化や効率化、生産性の向上を図る農業

※2 認定農業者等

農業経営の改善や新たな就農に向けた計画について、市町村等から認定を受けた農業者

海上でも利用可能なデータ通信サービスにより、 沖合での魚群探索が可能となり、漁業者の生産性向上を図りました。

【タイムリーな情報配信のしくみ】

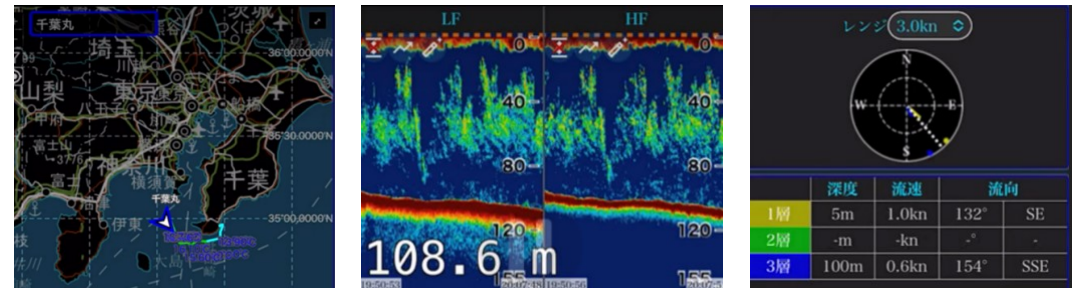


※衛星を活用した通信サービスのため、沖合でもデータ通信が可能となります。

調査船の魚群データ等をタイムリーに共有することで、漁業者は効率的に漁場を判断できるようになりました。また、漁獲が見込めない場合には航海を見合わせる判断も可能となりました。

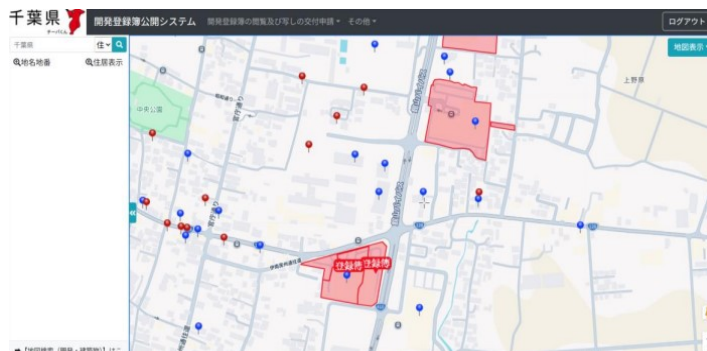
[魚群データ等]

R8年1月より魚群データの配信を開始。



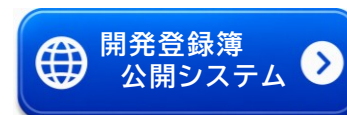
建築確認や土地取引等で活用される開発登録簿の閲覧と写しの交付申請をオンライン上で行えるようになりました。

【開発登録簿公開システム】



地図やキーワード検索により閲覧したい箇所の特定が容易になりました。

「開発登録簿公開システム」は令和8年4月1日より利用可能



閲覧や交付申請がオンライン上で行えます。

① 閲覧画面



No.	開発登録区分	ファイル名
1	開発登録簿	805-1-0002_開発登録簿.pdf
2	図面	805-1-0002_土地利用計画図 1.pdf

② 交付申請画面



【開発登録簿とは】

産業用地や住宅地の整備など、一定規模以上の土地開発について、「いつ、どこで、どのような許可が出されたか」を記録した台帳（記載内容例）

- この土地は過去にどのような開発が行われたか
- 開発許可はいつ取得されたのか
- どの範囲が開発されたのか

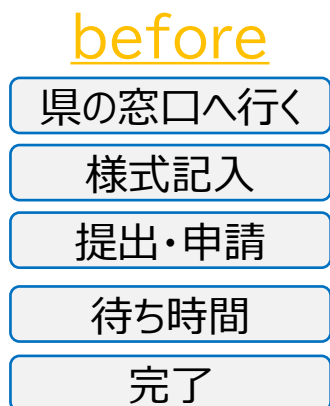
時間や場所にとらわれない行政手続きを拡大し、 県の行政手続の約 7 割がオンラインで手続可能になりました。

(令和 7 年度末時点)

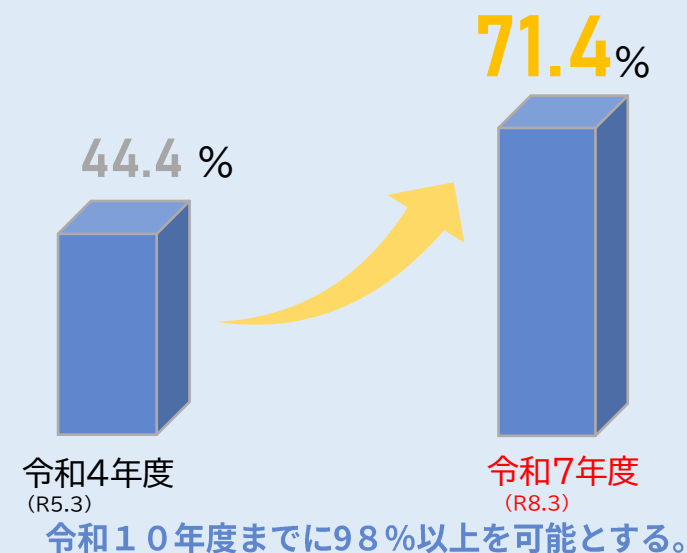


例えば、こんな手続がオンラインで！

- ・ パスポートの申請
- ・ 事業者向けの各種申請
(建設業、産業廃棄物処理業等)
- ・ 納税証明書の交付請求
- ・ 県立学校の出願及び検査料納入
- ・ 資格試験の受験申込み
- ・ 各種講座・研修・イベント
への参加申込み



行政手続の全利用件数のうち
オンラインによる手続が可能な割合



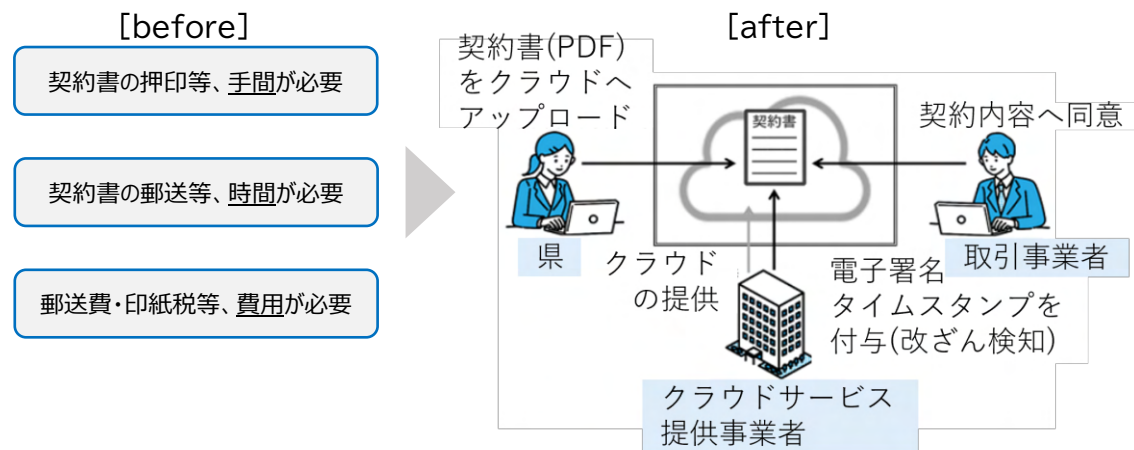
※オンラインで手続きできるもののうち、
オンラインが選ばれた割合は3割
(令和6年度末サンプル調査に基づく)

県庁の業務改革で県民サービスの更なる向上を図りました。



【電子契約の推進】

令和7年度電子契約 **8,382件**
[令和6年度比1.8倍]



【ペーパーレス化の推進】

令和7年度印刷・コピー使用量
令和5年度比約**3,800万枚減 (19.1%減)**
[令和5年度約20,000万枚→令和7年度約16,200万枚]

【デジタルツールの活用で、業務を効率化】

- AIチャットボットで24時間自動応答
→ **18業務**で導入
- RPAで作業を自動化 → 年間**4,416時間**削減
- ローコードツールで集計業務を効率化
→ **75業務**で開発、導入
[「犬と猫との出会いの場 | あげたい動物情報」
「市民農園を探す」 など]
- 生成AIの活用で非定型業務を効率化
文書作成・要約、アイデア出し、庁内規程等を踏まえた事務確認などを効率化し、職員の本来業務への注力を支援
令和7年度利用職員数(月平均) 約**3,200人**
利用回数(月平均) 約**15,000回**

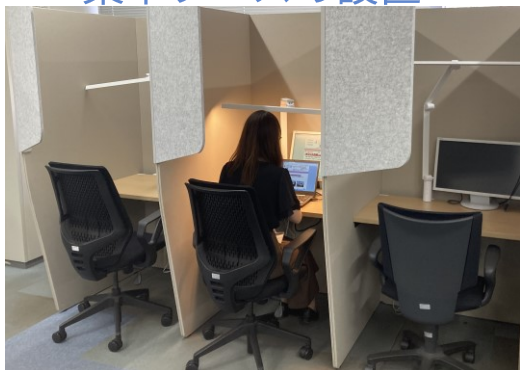
オフィス改革の実施により、業務の内容や状況に応じた執務環境を実現し、効率的な業務運営や多様で柔軟な働き方を推進しました。

【オフィス改革後の執務スペース】

フリーアドレスの導入



集中ブースの設置



打合せスペースの拡充



多目的スペースの設置



【オフィス改革の実施】

～令和6年度 本庁 3 所属、出先機関 2 所属
令和7年度 本庁 6 所属 累計 **11** 所属

【取組の効果】

令和7年度実施所属職員へのアンケート結果から

- ・ オフィス環境に満足 53%→**79%**
- ・ コミュニケーションの向上を実感 約**48%**

令和7年度実施所属での

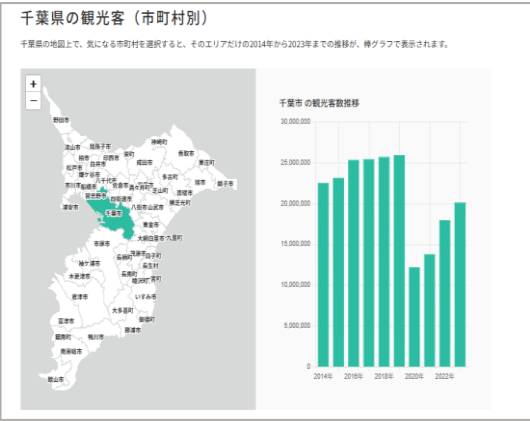
テレワーク実施者割合 20.1%→**30.4%**
印刷・コピー使用量 約**25.6%**減

※対象所属の前年同期(2か月分)の比較

誰でも活用可能なオープンデータ※の利活用を推進しました。

※オープンデータ
行政機関等が所有する様々なデータを、
誰もが無料で自由に利用できるよう公開しているもの。

【令和8年3月に新サイト開設】



【オープンデータアイデアソン・ハッカソン】



学生がデータを活用し
地域課題の解決策を検討する
イベントを開催しました。

【参加者】 **71名**

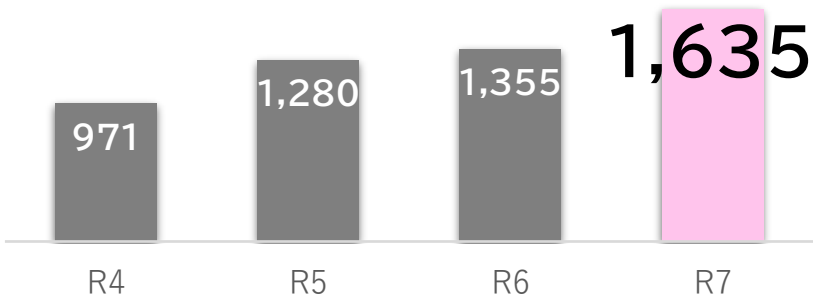
より使いやすいサイトに！

地図・グラフでデータを可視化

複数データを一括取得可能

市町村データの登録で幅広いデータ収集が可能

オープンデータ公開件数日々拡充中！



県民サービス向上のため、オンライン申請窓口の掲載内容を充実させるとともに、施策の成果を実感していただけるよう**広報**に取り組みました。

県全体のオンライン申請の窓口を集約した
ちばDXポータルに掲載情報を充実させました。



[アクセス数] **8倍**

※以前のホームページと開設後の月平均比

LINEやXでDXの取組を発信！

